石淵ダム～胆沢平野までの水の流れ

区町別灌漑面積	
区町名	面積（ha）
胆沢区	4,021
水沢区	2,560
前沢区	1,626
金ヶ崎町	291
合　計	8,498



石淵ダム

扇状形に展開した岩手の穀倉地帯といわれる胆沢平野の水田は、ほとんどが胆沢川の水を利用しています。

石淵ダムの貯水も、かんがい用水として最大で毎秒16m3の水が利用され、約8,500haの田畑をうるおしています。



円筒分水工

昔は、胆沢川の水不足から２大幹線水路である寿安堰と茂井羅堰とで争いが絶えなかったことから、水を平等に分配する為に、現在の奥州市胆沢区若柳字堰袋に円筒分水工が造られました。